旭化学工業株式会社

（証券コード:7928　東京証券取引所スタンダード市場　名古屋証券取引所メイン市場）



2026年８月期 決算説明資料及び 中期経営計画の進捗状況

https://www.asahikagakukogyo.co.jp

2026年11月26日

会社概要
(2026年8月31日現在)

会社概要

企業名	旭化学工業株式会社 Asahi Kagaku Kogyo Co., Ltd.
設立	1966年9月
代表者	取締役社長　　杉浦　武
資本金	671百万円
発行済み株式数	3,896,000株
上場市場名	東証スタンダード　名証メイン市場（7928）
本社（工場）	碧南市港南町２丁目８番地１４
本社事務部門及び安城工場	安城市城ケ入町広見１３３番地３
海外子会社	中国：旭日塑料制品（昆山）有限公司 タイ：ASAHI PLUS CO.,LTD.
従業員数（合計568名）	（連結）社員476名　臨時雇用者数92名
事業内容	電動工具及び自動車部品等の樹脂成形、 電動工具の組付、 樹脂成形用金型の設計製作、 並びに自社製品である建築資材の製造販売
主な得意先	（株）マキタ、（株）イノアックコーポレーション、トヨタ紡織（株）、豊田合成（株）、（株）デンソーウェーブ

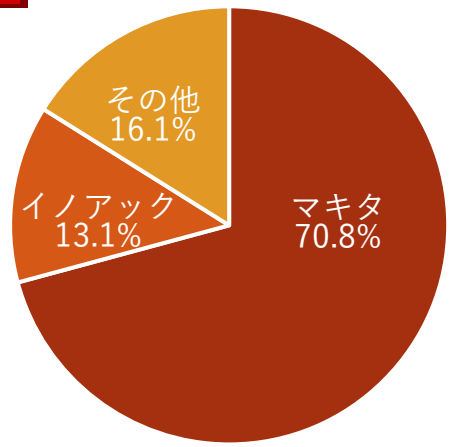
経営理念

「愛されるプラスチックメーカー」
を目指して！

合理化の追求…良い考え
信頼性の重視…良い商品
人間性の尊重…良い職場

人・物・金は企業にとって限度がある。
限度あるものを最高に生かすのが事業である。

取引先別売上高



地図


JAPAN
本社工場
本部・安城工場
CHINA
THAILAND
海外事業所
ASAHI PLUS CO.,LTD.
海外事業所
旭日塑料制品（昆山）有限公司
ASAHI PLASTIC (KUNSHAN) CO.,LTD

製品情報

自社製品（建築用資材）


ビッグアンカー1／2 Mk-Ⅱ


ストロングプラグ


極美小町


AXプラグ


アンカーピン


ノーブルアンカー

電動工具メーカー向け成形品


ハウジング


モーターハウジング


ハンドルセットヒン


ファンカバー

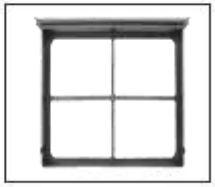


フロントカバー



プラスチックケース

自動車部品メーカー成形品


機能部品


グリップ部品


内装部品


ピラー部品


ピラー部品


インパネ部品

その他成形品


スキャナー部品


ロボット部品

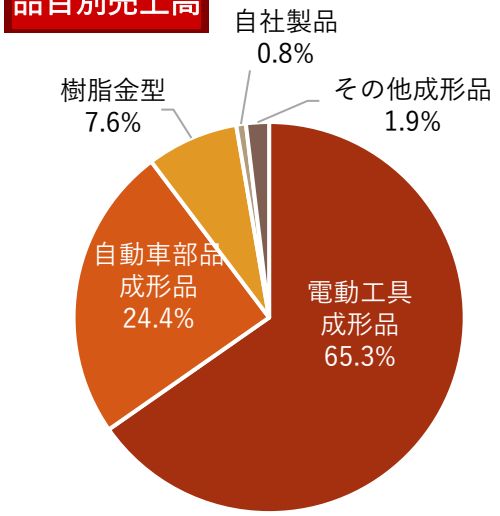

ロボット部品


スキャナー部品


スキャナー部品


医療用樹脂ケース

品目別売上高



本社工場

所在地	愛知県碧南市港南町２丁目８番地１４
敷地面積	16,588㎡
建　物	成形工場・加工棟　各１棟 自動倉庫・倉庫　各１棟
射出成形機 （合計16台）	1,300 t　3台 850 t　5台 650 t　7台 350 t　1台
従業員数 （合計73名）	社員60名　臨時雇用者数　13名









安城工場(事務部門含む)及び平坂工場

所在地	愛知県安城市城ケ入町広見133番地3
敷地面積	6,308㎡
建　物	工場 3棟、事務所・食堂 1棟
射出成形機 (合計25台)	600t　1台 450t　7台 350t　1台 280t　2台 220t　4台 200t　3台 150t　4台 100t　2台 85t　1台
従業員数 (合計96名)	社員　92名　臨時雇用者数　4名









旭日塑料制品(昆山）有限公司

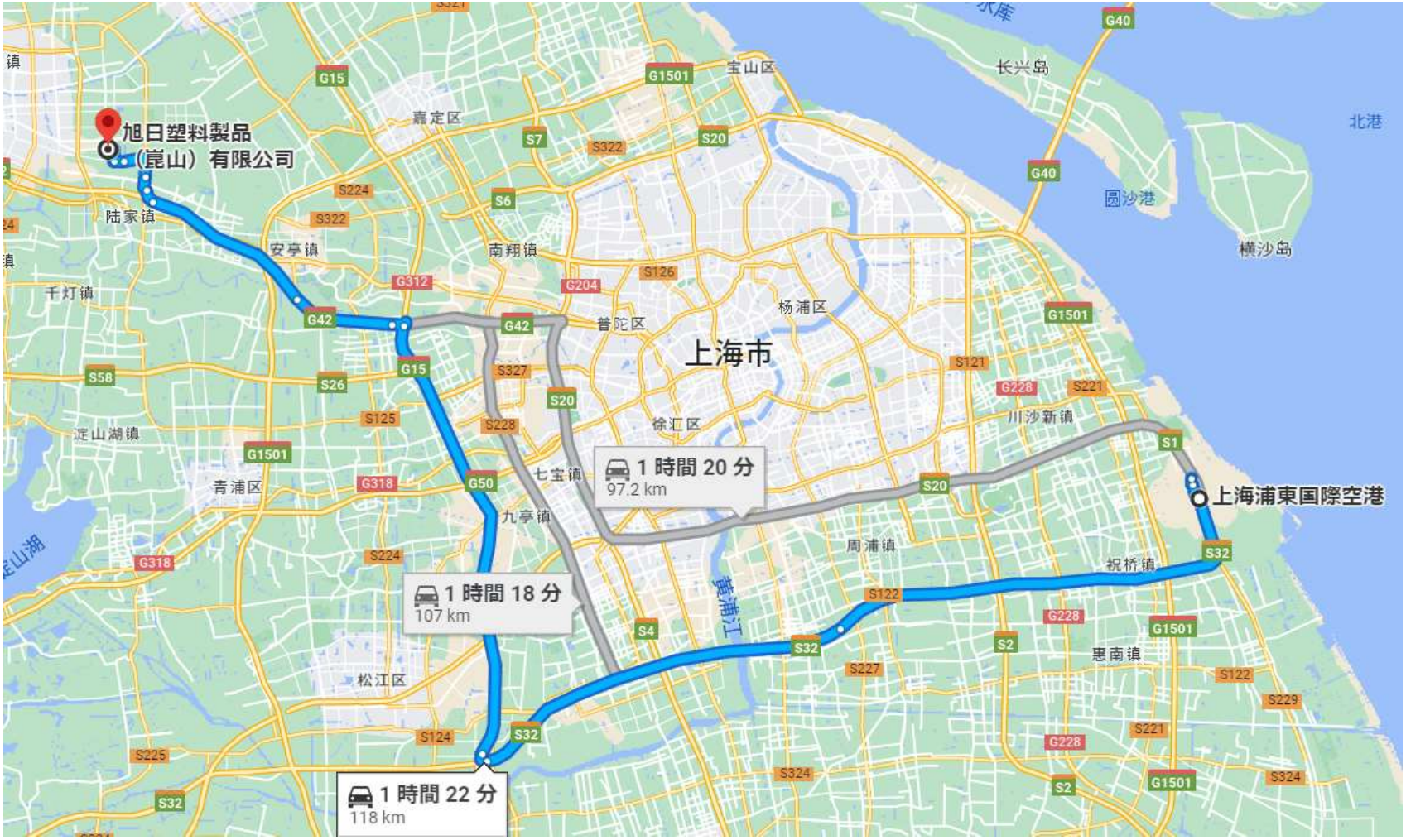
企業名	旭日塑料制品（昆山）有限公司
設　立	2001年12月
代表者	総経理　手島　淳
資本金	624万ＵＳ＄(旭化学工業100％出資)
敷地面積	27,257㎡
所在地	中華人民共和国江蘇省昆山市 昆山経済技術開発区盛希路２０号
建　物	工場棟２棟　事務所棟１棟 食堂棟１棟　守衛室１棟
射出成形機 (合計56台)	800t　1台　700t　1台 530t　5台　470t　4台 450t　2台　380t　1台 360t　3台　350t　2台 320t　2台　230t　1台 220t　2台　200t　6台 190t　1台　180t　1台 160t　16台　150t　1台 120t　2台　100t　2台 90t　2台　80t　1台
従業員数 （合計295名）	社員　245名　　臨時雇用者数　50名
主な得意先	牧田（中国）有限公司 牧田（昆山）有限公司







地図　旭日塑料制品（昆山）有限公司



ASAHI　PLUS　CO.,LTD

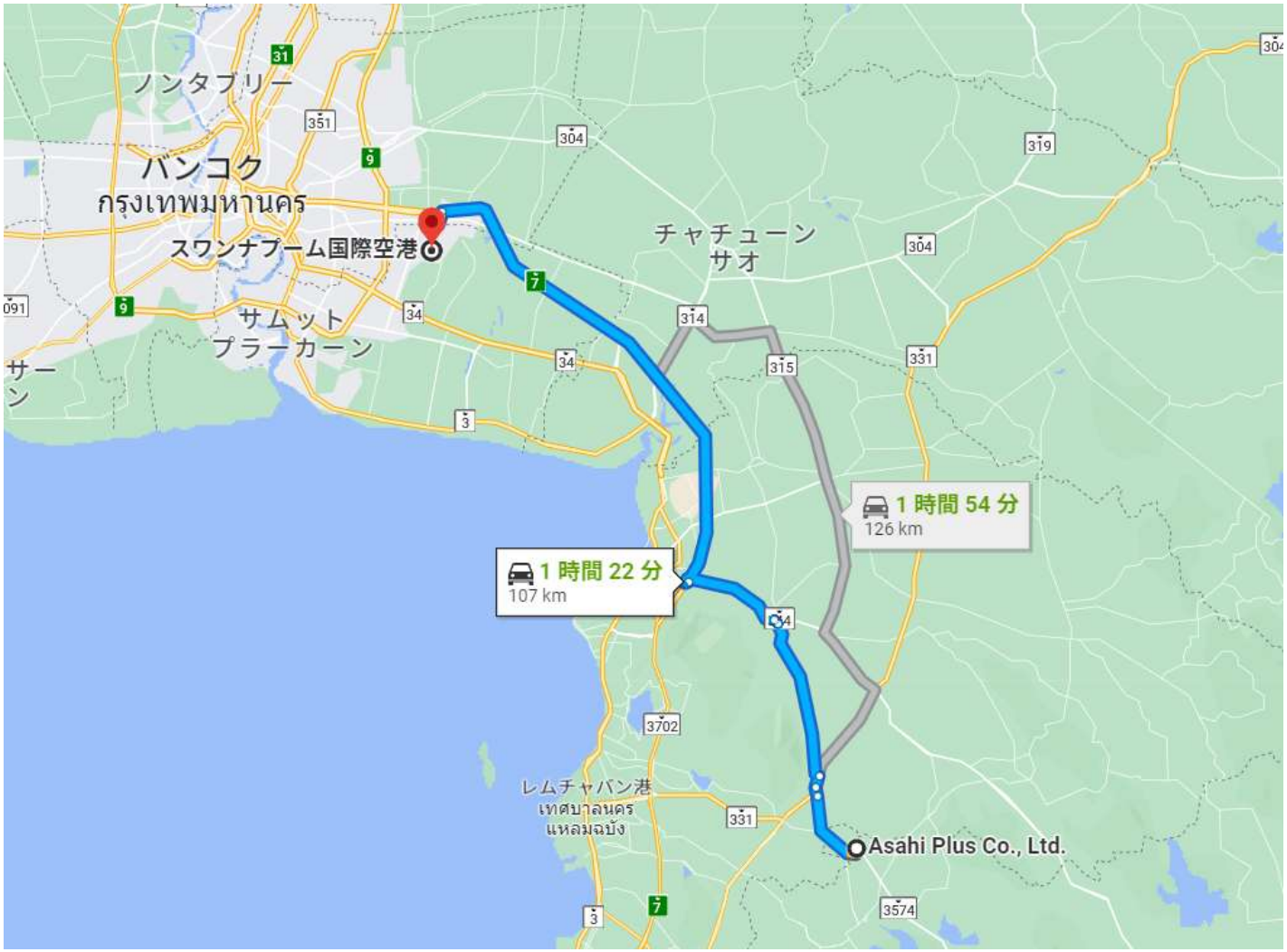
企業名	ASAHI　PLUS　CO.,LTD	
設　立	２０１１年７月	
代表者	南　幸一	
資本金	5億9,000万バーツ （旭化学工業100％出資）	
敷地面積	25,998㎡	
所在地	タイ王国　ライヨーン県	
建　物	工場棟1棟	
射出成形機 （合計16台）	450t　3台	350t　3台
	280t　4台	230t　1台
	180t　3台	110t　2台
従業員数 （合計104名）	社員79名　臨時雇用者数25名	
主な得意先	Makita Manufacturing(Thailand) Co.,Ltd. ROKI(THAILAND) Co.,Ltd. RICOH(THAILAND) Co.,Ltd.	







地図　ASAHI　PLUS　CO.,LTD



沿革

創業 1962年 設立 1966年

創業期

- 愛知県碧南市大字鷲塚字川岸浜36番地（現 愛知県碧南市神有町7丁目11番地）において、プラスチック製品の成形及び加工を目的として資本金2,000千円にて旭化学工業株式会社設立
- 製造品目を日用雑貨用品より、工業部品（自動車）に全面切替える
- （株）マキタ（旧商号（株）マキタ電機製作所）と取引開始、電動工具成形品の生産を始める

1978年

第１次成長期

生産能力の強化

- 需要の増大に対応するため、愛知県安城市城ヶ入町に安城工場を新設
- 需要の拡大に対応するため、安城工場を増設
- 本社事務部門を本社から安城工場へ移設
- 自社ブランド製品として樹脂アンカープラグを開発、発売

1993年

- 日本証券業協会に株式を店頭登録

2001年

第2次成長期

海外進出

- 中国江蘇省昆山市に旭日塑料制品（昆山）有限公司設立
- 旭日塑料制品（昆山）有限公司の新工場完成、移転
- タイにASAHI PLUS CO.,LTD.を設立

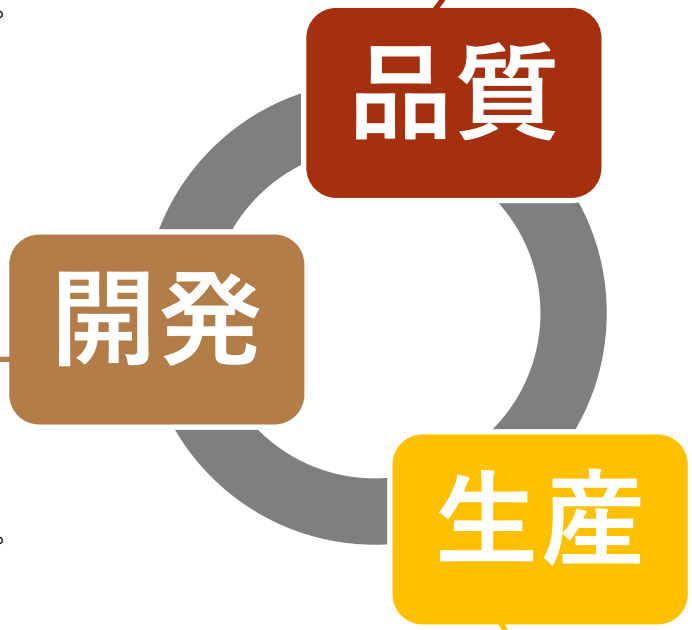
2022年

創業60周年

当社の強み

製品の品質管理の徹底は会社の信頼をより大きなものにします。

- 全工程での品質管理体制はもちろん、三次元測定器などの精密機器や熟練した人の目で、あらゆる角度から製品を徹底的にチェックしてお届けしています。
- 日本品質を海外拠点でも可能にし、ユーザーのニーズに対応しています。



常に高品質を維持するため、新しい成形技術など、技術開発に努め、精度の限界まで挑戦しています。

- 豊富な設備と長年培われた技術から高品質な製品を提供しております。
- 自社オリジナル製品の開発・製造も30年前より実施しています。
- 3D･CADや流動解析ソフトなど、先進のテクノロジーを駆使し、新しい成型技術など常に技術開発に努め制度の限界まで挑戦しています。

金型設計から射出成形、アッセンブリまで一貫生産体制で、ハイクオリティな製品を造りだしています。

- 最高品質の製品をタイムリーにお届けすることができる安定した生産能力にて、お客様のニーズに応じて正確かつ迅速にモノを造っています。
- 大型製品から小型製品、2色成形、異材質成形など、あらゆる製品に対応しています。

当社の強み：一貫生産システム








ハイクオリティな製品をつくりだす、旭化学工業ならではの綿密な一貫生産システム

金型設計

長年のノウハウと最新のシステムで、お客様から頂いた製品データから樹脂化するための最適な金型を自社設計

金型製作

自社で金型を設計しているため、成形工程における様々な検討事項を即座にフィードバックし、より高精度な金型を製作

成形

様々な機械と長年の技術で汎用性の樹脂から超耐熱性の樹脂まで、高精度・高品質な製品を成形

加工

細部まで完璧な製品に仕上げるため、超音波ウェルダー、振動溶着機など先進の加工機械を使用して、正確かつ能率的に加工

組付け

機械と人の手により中身のパーツが組み入れられ、エンドユーザーがそのまま使用できるパーフェクトな完成品へ

品質管理

受け入れ検査、工程内検査、出荷検査など、すべての工程で徹底した品質管理

2026年８月期(連結)の業績

2026年8月期(連結)の業績概要

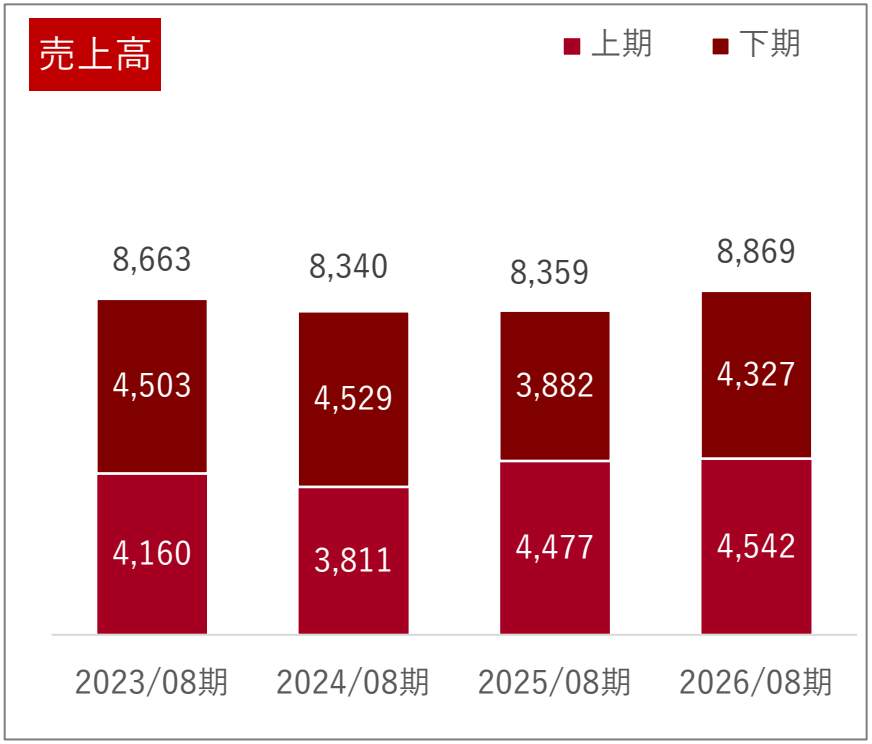
- 売上高については、自動車部品は減少しました。電動工具部品は受注が堅調に推移し３カ国共に増加しました。為替が円安に推移したことにより円換算額が増加（中国７億１３百万円、タイ８５百万円）し前期比６.１％増の８８億６９百万円。
- 利益については、生産工程自動設備を導入し生産効率が向上、中国工場の金型売上の増加などにより営業利益４４百万円（前期は営業損失４５百万円）となりました。

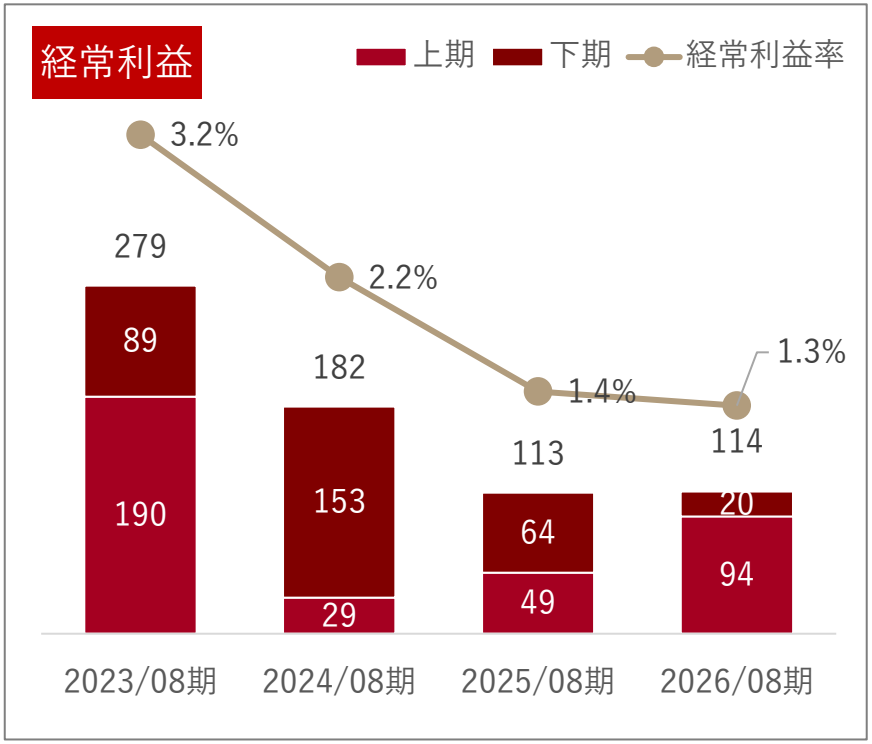
（百万円）

	2025/08期		2026/08期							
			第２四半期				通期			
	第２四半期	通期	予想	実績	前期比（％）	予想比（％）	修正予想（4月13日開示）	実績	前期比（％）	予想比（％）
売上高	4,477	8,359	4,100	4,542	1.5	10.8	8,500	8,869	6.1	4.3
売上総利益（売上高総利益率）	439 (9.8%)	793 (9.49%)		503 (11.1%)	1.3			925 (10.4%)	16.6	
販管費	475	839		446	▲6.1			881	5.0	
営業利益（営業利益率）	▲36 (—)	▲45 (—)	35 (0.9%)	57 (—)	(—)	62.9	70 (0.8%)	44	(—)	(—)
経常利益（経常利益率）	49 (1.1%)	113 (1.4%)	60 (1.5%)	94 (2.1%)	91.6	56.7	130 (1.5%)	114 (1.3%)	1.1	▲12.3
親会社株主に帰属する四半期純利益	5	47	30	32	489.8	6.7	50	20	▲57.2	▲60.0
1株当たり配当（中間、期末）	5.0円	5.0円	5.0円	5.0円	0.0	0.0	5.0	5.0	0.0	0.0
配当性向		66.4%					62.1	152.2%		

業績概要

（百万円）


売上高
上期
下期
8,663
8,340
8,359
8,869
4,503
4,529
3,882
4,327
4,160
3,811
4,477
4,542
2023/08期
2024/08期
2025/08期
2026/08期


経常利益
上期
下期
経常利益率
3.2%
2.2%
1.4%
1.3%
279
182
113
114
89
153
64
20
190
29
49
94
2023/08期
2024/08期
2025/08期
2026/08期

貸借対照表及び設備投資の状況

（百万円）	2025/08期	2026/08期
資産合計	6,678	7,353
流動資産	3,157	3,850
固定資産	3,520	3,503
負債合計	1,387	1,642
流動負債	1,196	1,415
固定負債	190	227
純資産合計	5,290	5,711
株主資本	4,152	4,088
自己資本比率	79.2	77.7



2026年1月取得　本社工場　850t成形機

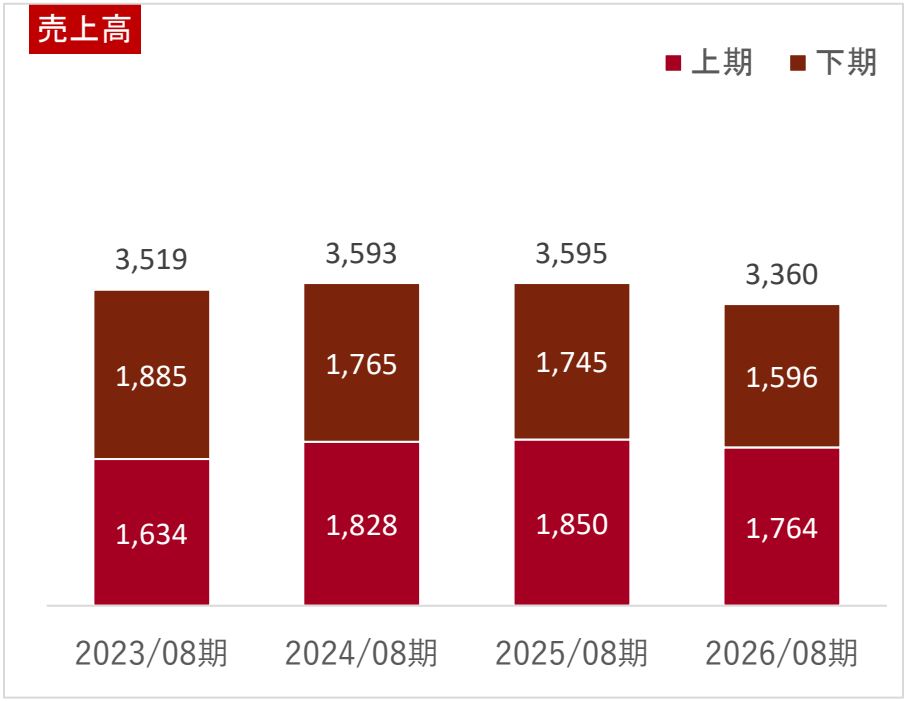
設備投資（60期）

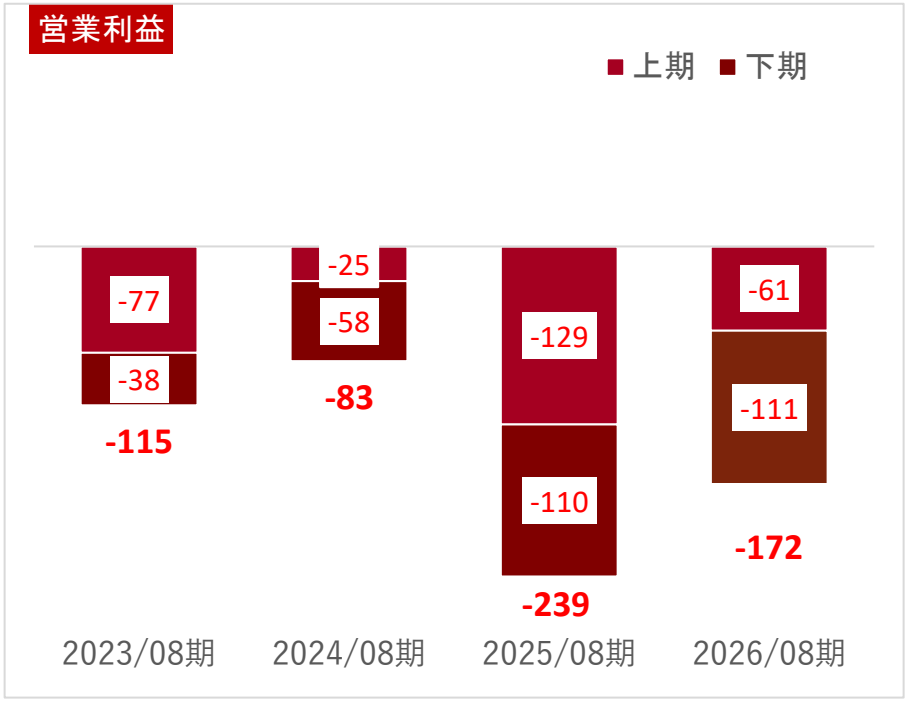
国内	旭化学工業株式会社	成形機、生産附属設備	2億4,038万円
中国	旭日塑料制品（昆山）有限公司	成形機、生産附属設備、省人化設備、金型製作設備	5,502万円
タイ	ASAHI　PLUS　CO.,LTD.	生産附属設備	970万円
合　計			3億511万円

地域別の状況[国内]

- 売上高は、自動車部品は、売上単価の高い塗装自動車部品の量産出荷が減少、また地震等の自然災害による取引先の臨時稼働停止に伴い、生産、出荷が減少しました。電動工具部品は堅調に推移しました。前期比6.6％減少し33億60百万円。
- 成形機等の減価償却費の負担が大きく営業赤字1億72百万円となりましたが、省人化設備導入による人件費削減及び2025年12月には借用していた倉庫を返却などにより経費が減少しました。
- 2027年8月期は、外注委託している製品の一部の内製化を実施予定、外注費の削減と収益性の向上を図ります。

（百万円）

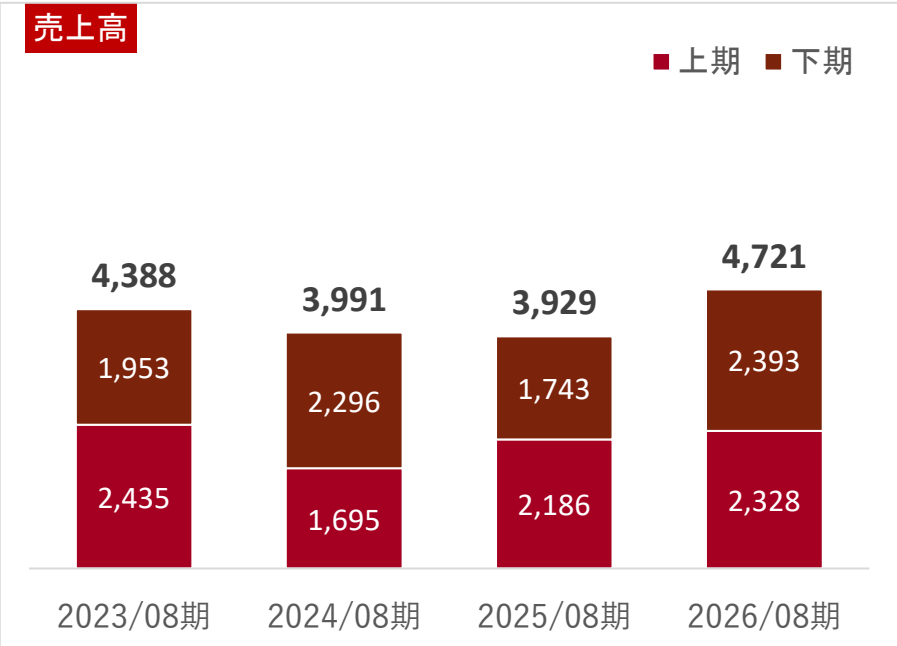


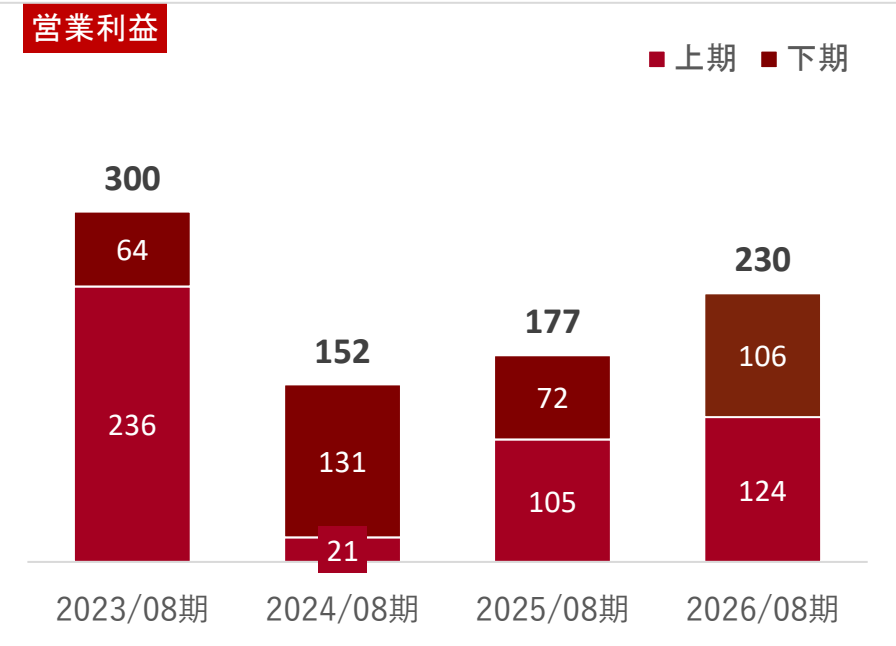


地域別の状況[中国]

- 売上高は現地通貨では微増、為替換算の影響で前期比20.2％増の47億21百万円。そのうち金型売上は、前期比 27.7％増の4億33百万円。
- ２０２６年８月期は金型製作機械及び省人化設備への設備投資により金型製作の内製化と生産工程の自動化により収益性が向上しました。営業利益は２億３０百万円。

（百万円）





想定為替レート

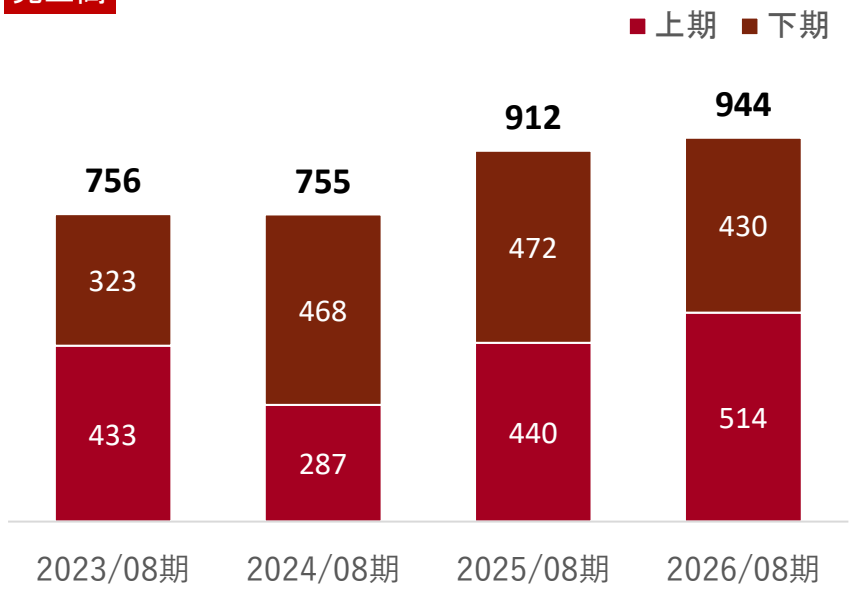
19.96	22.35	20.16	23.78

地域別の状況[タイ]

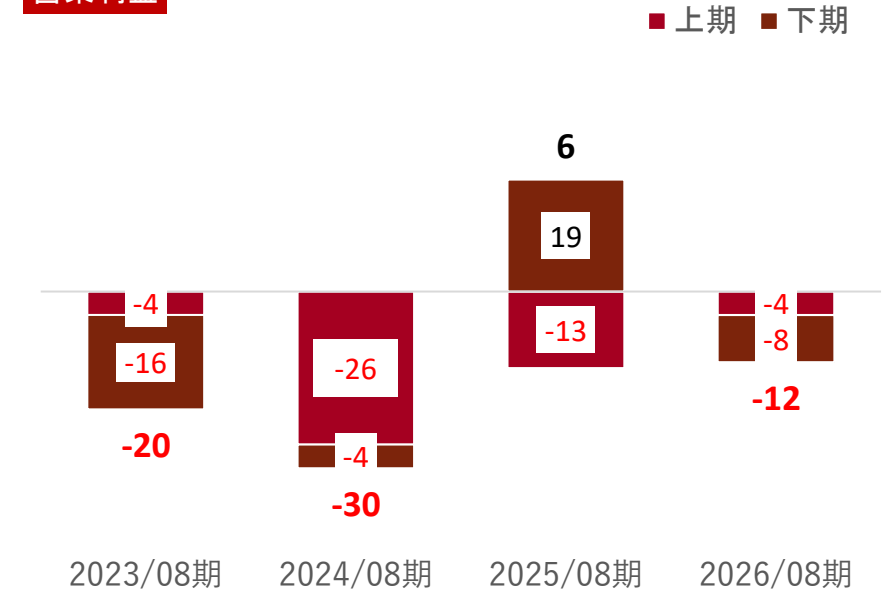
- 売上高は現地通貨では減少しましたが、為替換算の影響で前期比3.5％増の９億44百万円。
- 直近の工場稼働率は90％と高水準で推移、今後も高い稼働率を維持しながら積極的に営業活動による新規受注の獲得に努めてまいります。

（百万円）

売上高



営業利益



想定為替レート

4.07	4.36	4.44	4.88

当社が目指す姿と中期経営計画

中期経営計画の概要と進捗状況

（2026年8月期～2028年8月期）

テーマ グローバル競争力の強化と人材育成

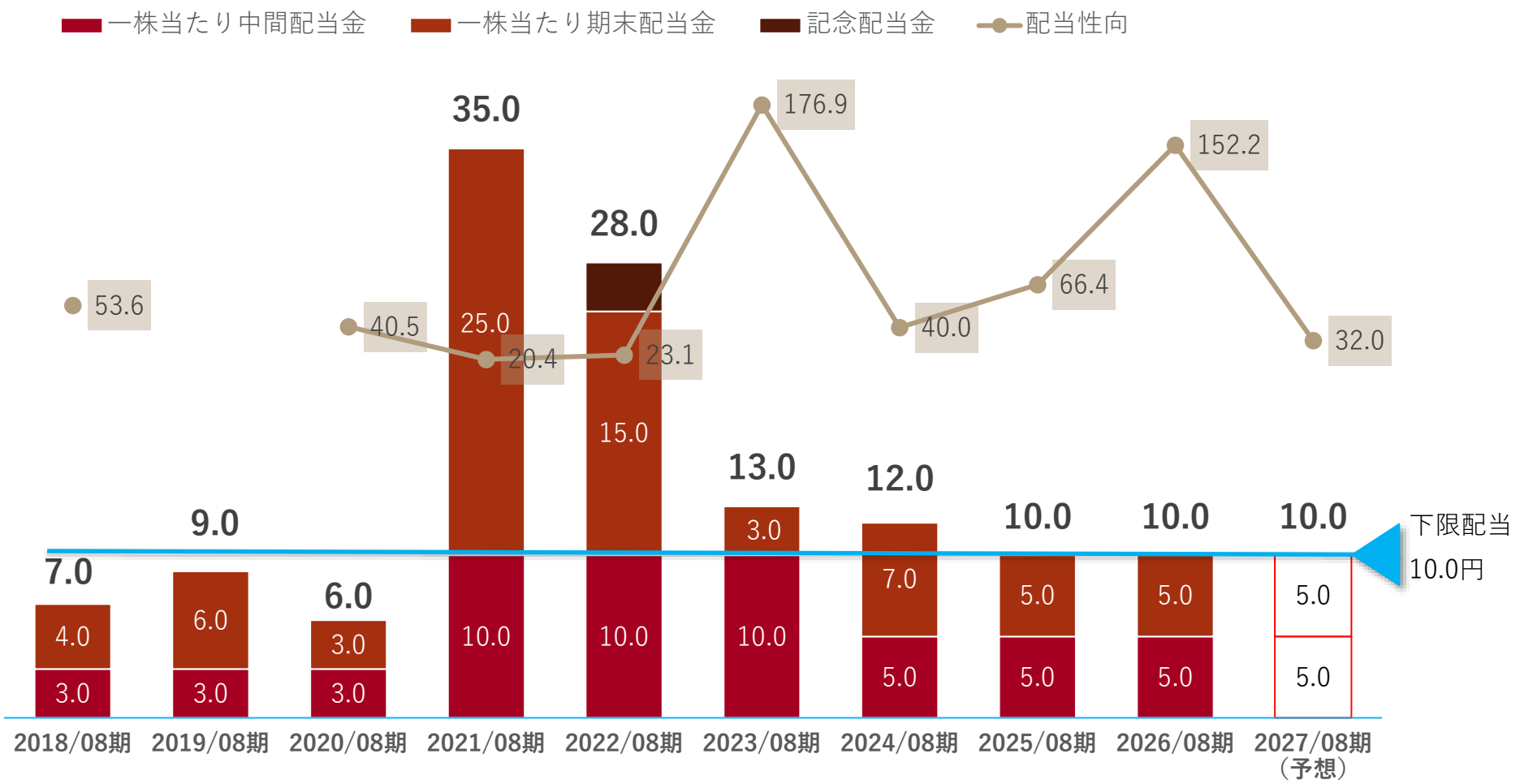
重点施策	実施する取組み	目標	評価	実施状況（2025年9月~2026年8月）
技術者の育成 若手技術者と グローバル人材の育成	各種資格取得支援の社内推進 社外講習会への参加推進 能力重視した人事評価と適材適所の組織体制	日本 射出成形技能士資格取得 （１級２名　２級５名） 中国 社内独自の資格制度試験実施 タイ 社外セミナー参加	△	取引先工場見学実施 （自動化設備、品質管理） 日本　射出成形技能士資格取得（２級 1名）
生産性の向上 高品質で量産性の高い成形技術の確立、 グループ全体最適化の実現 M＆Aの検討	生産工程改善、自動化設備導入による原価改善 成形段取時間の削減、作業手順の見直し 生産能力強化、自社技術と相乗効果を生む技術及び人材の獲得を目的にM＆Aを検討	製造効率改善 段取時間30％削減 自動化設備導入	△	生産工程の自動化設備導入 売上高総利益率10.4％ 経常利益率1.3％
利益率の改善	自社商品の開発 老朽化設備を更新し新しい成形機を活用した高付加価値製品の提供 在庫削減	自社商品の新規発売 製造効率改善 在庫３０％削減	△	建築用資材の新製品販売開始：極美小町（2026年4月）
サステナビリティの推進 持続的社会の実現に貢献すべく、社会価値の共創	ハラスメントなど各種研修実施によるガバナンス強化 多様性を尊重した職場づくり 二酸化炭素排出量のゼロを目指した取り組み開始	国内育休取得率100％ 国内太陽光発電設備設置 女性管理職グループ全体７名	△	国内育休取得率100％ 女性管理職（グループ全６名）

中期経営計画の概要と進捗状況
（2026年8月期～2028年8月期）

（百万円）	2026/08期（実績）		2026/08期（計画）		2027/08期（計画）		2028/08期（計画）	
	第２四半期	通期	第２四半期	通期	第２四半期	通期	第２四半期	通期
売上高	4,542	8,869	4,100	7,850	4,350	8,700	4,800	9,600
営業利益	57	44	35	40	40	80	60	120
経常利益	94 (2.1%)	114 (1.3%)	60 (1.5%)	110 (1.4%)	75 (1.7%)	150 (1.7%)	100 (2.1%)	200 (2.1%)
親会社株主に帰属する当期純利益	32	20	30	50	45	90	60	120

株主還元方針

財務基盤を堅持しつつ、継続的な株主還元を実現するため、将来の成長投資と株主還元のバランスに基づき、
配当性向30％を基本方針としております。
また、2024年８月期より下限配当を10円と設定しております。



2027年8月期(連結)の業績予想

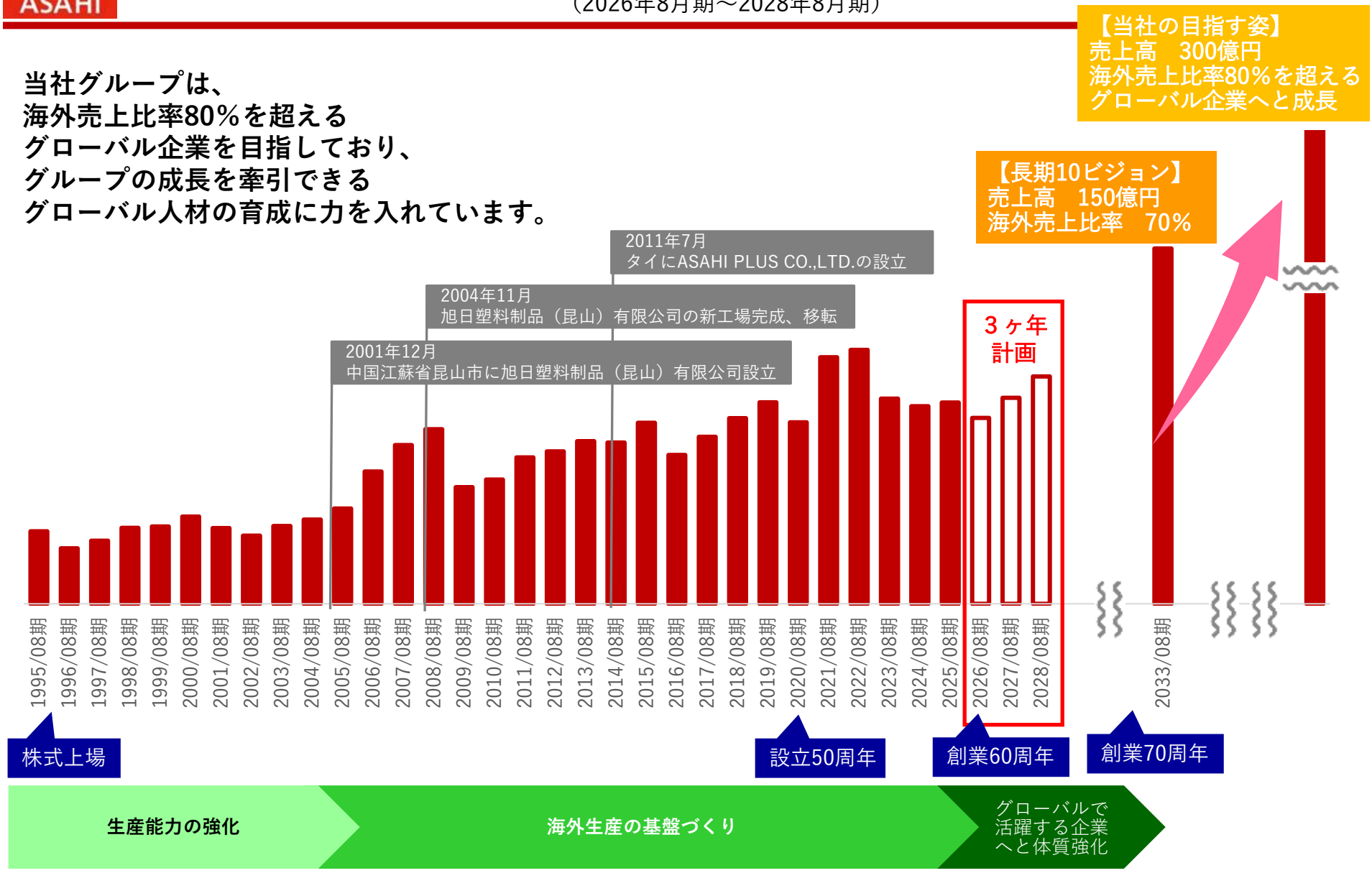
- 売上高は、電動工具部品は3カ国共に堅調に推移する見込み。88億50百万円。
- 日本は2027年3月に安城工場に印刷室を新設し借用中の印刷工場を返却予定、固定費の削減による収益性の向上を目指す。
- 中国工場は、2027年8月期も金型製作機械を増設予定、利益率の高い金型の社内生産能力の拡大を図る。また成形機2台及び省人化設備を増設する。利益の増加を目指す。
- タイ工場は、成形機2台を増設及び印刷工程内製化を進める。印刷工程内製化率１０％向上を目指す。

（百万円）	2027/08期			
	第２四半期		通期	
	予想	前期比　％	予想	前期比　％
売上高	4,500	▲0.9	8,850	▲0.2
営業利益 （営業利益率）	60 (1.3％)	―	120 (1.4％)	―
経常利益 （経常利益率）	100 (2.2％)	6.1	185 (2.1％)	61.4
親会社株主に帰属する 四半期純利益	50	52.3	95	370.4
1株当たり配当	5.0円	0.0	5.0	0.0
配当性向			62.5%	

当社が目指す姿と中期経営計画

（2026年8月期～2028年8月期）

当社グループは、
海外売上比率80％を超える
グローバル企業を目指しており、
グループの成長を牽引できる
グローバル人材の育成に力を入れています。



資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

はじめに

「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」に関して、2026年8月期～2028年8月期の中期経営計画に基づいた当社の計画についてご説明します。

現状分析

- 自社の資本コストや資本収益性を的確に把握
- その内容や市場評価に関して、取締役会で現状を分析・評価

計画策定・開示

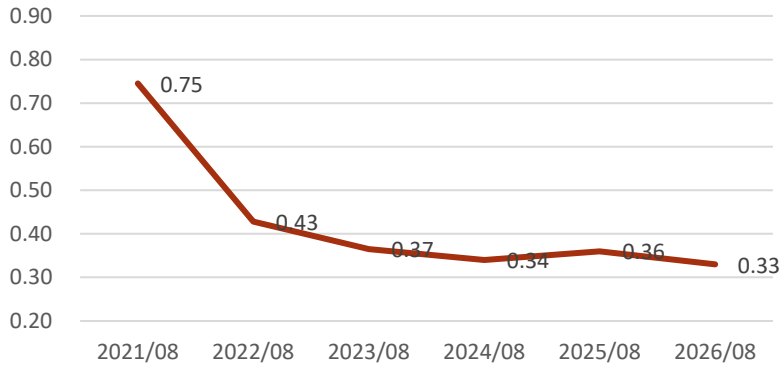
- 改善に向けた方針や目標・計画期間、具体的な取組みを取締役会で検討・策定
- その内容について、現状評価とあわせて、投資者にわかりやすく開示

取組みの実行

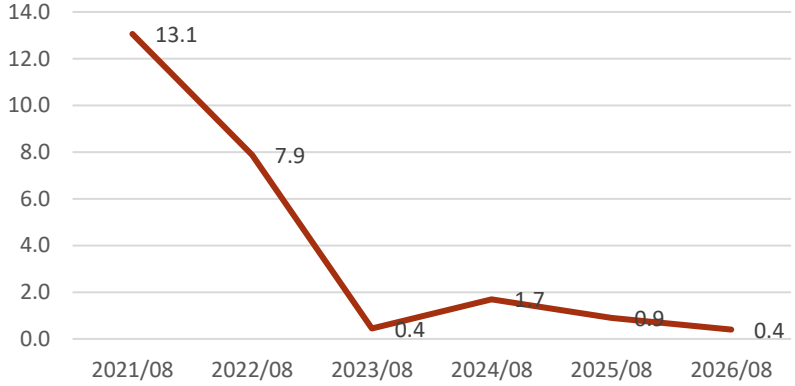
- 計画に基づき、資本コストや株価を意識した経営を推進
- 開示をベースとして、投資者との積極的な対話を実施

ＰＢＲとＲＯＥの推移

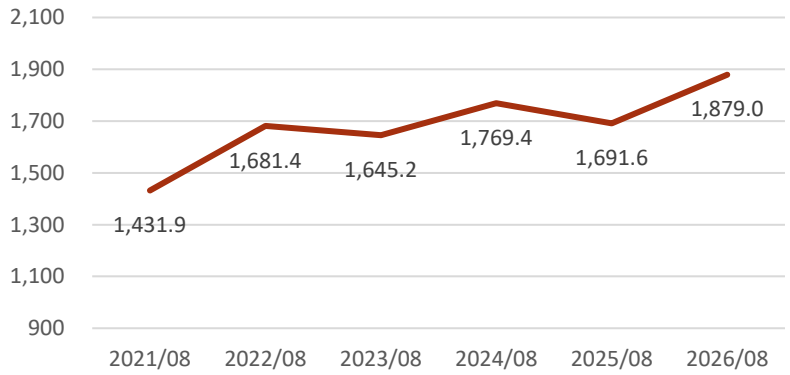
PBR（倍）



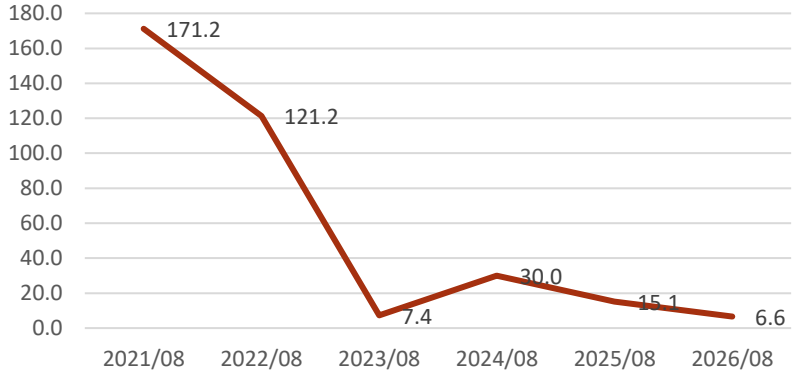
ROE（%）



BPS（円）

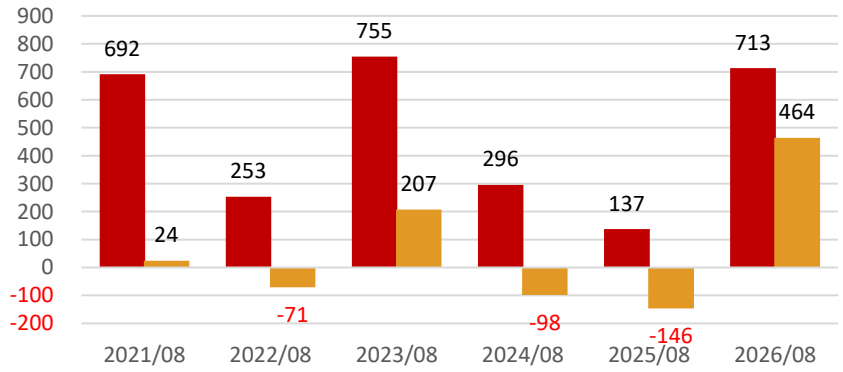


EPS（円）

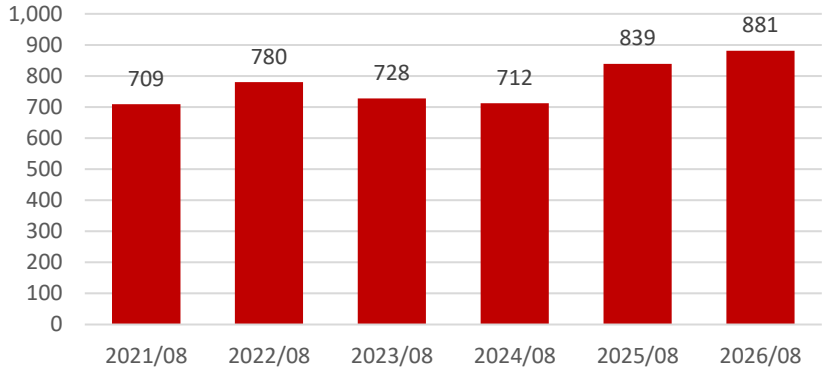


現状分析：キャッシュの状況

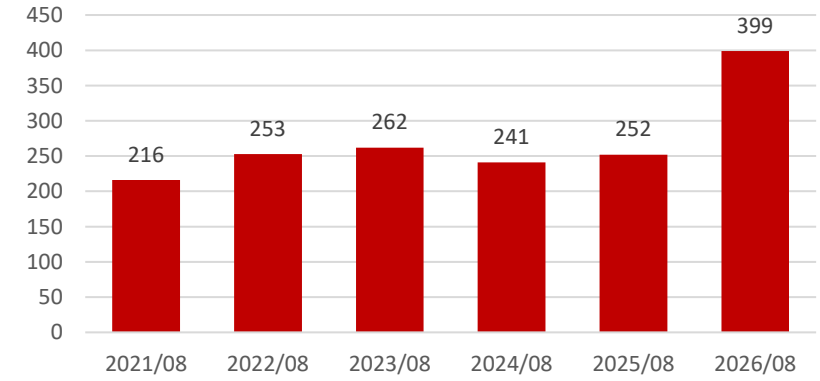
営業CF（百万円）　フリーCF（百万円）



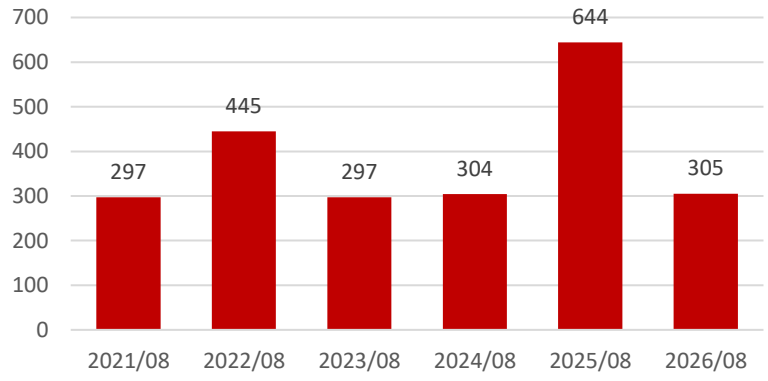
販売管理費（百万円）



減価償却費（百万円）

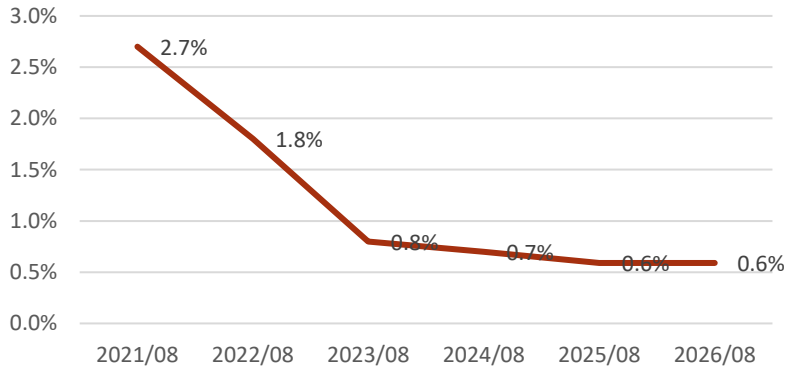


設備投資額（百万円）

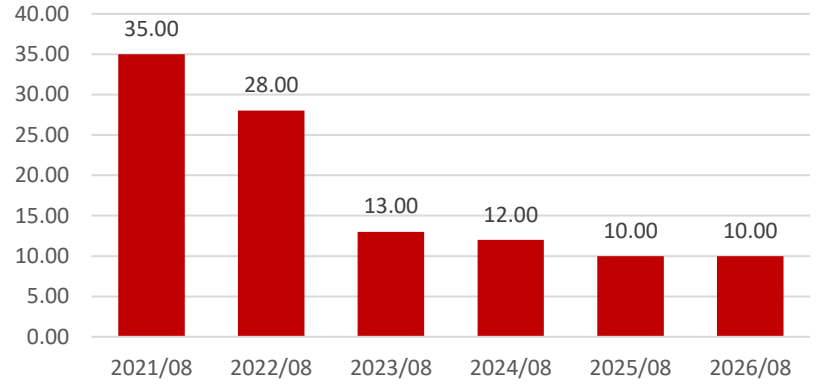


現状分析：株主還元の推移

DOE（%）



一株あたり配当金（円）

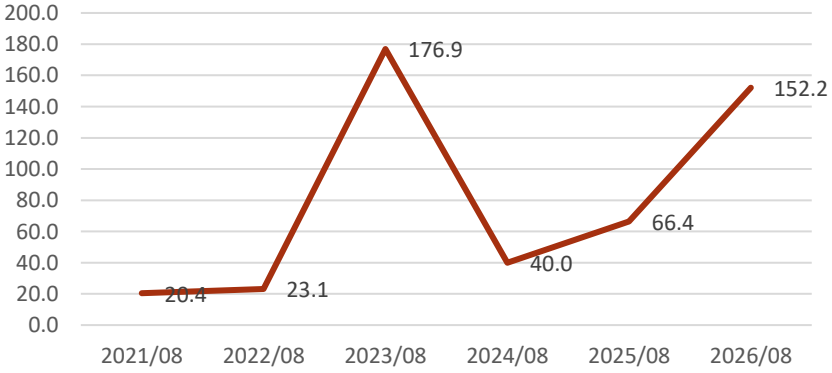


株主優待

保有株数	優待内容
100株以上	ＱＵＯカード　1,000円分

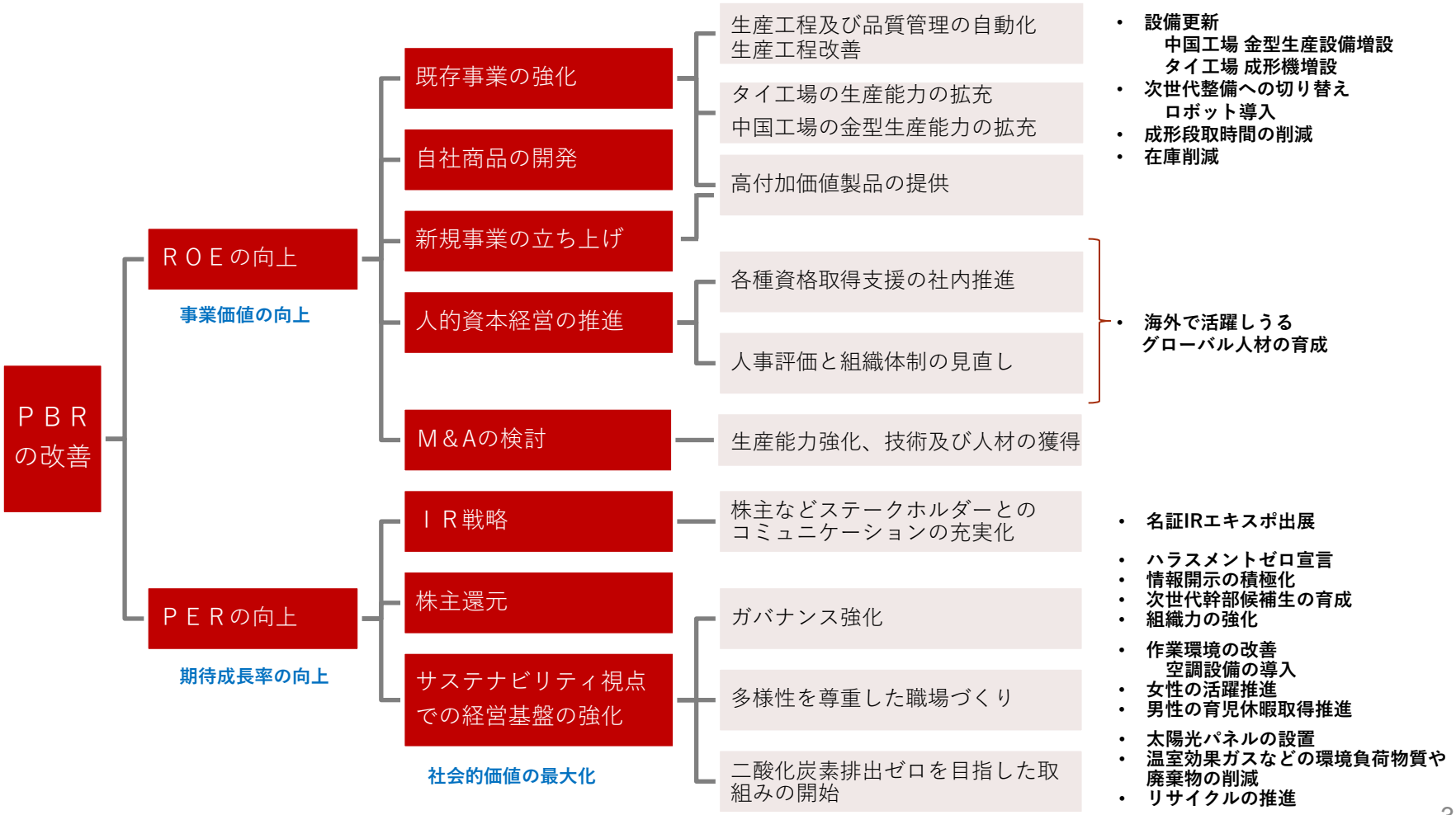
8月31日時点の株主名簿に記載された株主のうち、当社100株以上を保有されている株主様が対象

配当性向（%）



企業価値向上に向けた取組み

PBR及びROEは低水準で推移しており、資本効率及び収益性の改善が課題。今後は、生産工程の効率化、原価低減、付加価値の高い製品の受注拡大及び設備稼働率の向上等に取り組み、収益力の強化を通じてROEの向上及びPBRの改善を目指してまいります。



本資料に関するご注意

- 本資料は、情報提供を目的としたものであり、特定の商品の募集・勧誘・営業等を目的としたものではありません。
- 本資料で提供している情報は、金融商品取引法、投資信託及び投資法人に関する法律、東京証券取引所有価証券上場規程並びにその他関連法令、関係諸規則に基づく開示書類または報告書ではありません。
- 本資料の内容については、将来の予測に関する記述が含まれていますが、こうした記述は、本資料の作成日において入手可能な情報に基づいてなされた本投資法人および本資産運用会社の判断に基づいて行ったものです。将来の本投資法人の業績、経営結果、財務内容等を保証するものではありません。また、本資料の内容に関しては、その正確性及び確実性を保証するものではありません。なお、予告なしにその内容が変更または廃止される場合がありますので、予めご了承ください。
- なお、事前の承諾なしに、本資料に掲載されている内容の複製・転用等を行うことを禁止いたします。

お問い合わせ先
総務部
電話番号：（０５６６）９２－４１８１（代表）
Ｅ－ｍａｉｌ：y.matsuo@asahikagakukogyo.co.jp
ＵＲＬ： https://www.asahikagakukogyo.co.jp